

招待講師のプロフィール

【ランチョンセミナー】

今井茂樹（いまいしげき）先生

脳神経疾患研究所附属総合南東北病院

総合血管内治療センター長

血管内治療研究所長



兵庫県姫路市出身

1981年 川崎医科大学医学部卒業

1988年 ハワイ大学留学

1989年 川崎医科大学放射線医学 講師

1998年 同 助教授

2006年 同 准教授

2009年 現職

専門分野

Interventional Radiology (IVR) 特に救急・頭頸部・血管腫・血管奇形領域の Intervention、放射光を用いた腫瘍微細血管構築に関する研究

学会活動

日本医学放射線学会代議員、日本画像医学会評議員、日本 IVR 学会評議員、専門医制度委員、ECR(ヨーロッパ放射線会議) 会員、血管腫・血管奇形 IVR 研究会代表世話人、頭頸部放射線研究会幹事、救急放射線研究会世話人、高輝度光科学研究センター(SPring-8)課題選定委員会委員

資格

日本医学放射線学会認定専門医、日本 IVR 学会認定専門医

南東北病院の今井先生紹介ページ http://www.minamitohoku.or.jp/expert/imai_shigeki.html

【患者組織代表者講演】

木村香織（きむらかおり）氏



血管腫・血管奇形の患者会 代表

1982年(5歳) 上腕血管腫と診断、摘出手術をうけるが、1年ほどで再発

1999年(22歳) 痛み、しこりに気づき、病名がわからず、病院を転々と

2004年(26歳) 静脈奇形と診断される

2006年(28歳) 患者会発足

現在、都内大学職員として勤務

ひとこと「患者同士の情報交換の場としてだけではなく、社会資源として活用できるような会にしていけたらと思っています。今後ともよろしく願いいたします。」

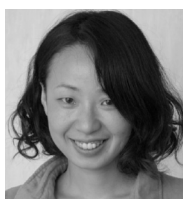
血管腫・血管奇形の患者会

<http://www.ric.hi-ho.ne.jp/ricric/>

個人ブログ

<http://pavapava.blog83.fc2.com/>

佐藤朋子（さとうともこ）氏



混合型血管奇形の難病指定を求める会 事務局長

岐阜県加茂郡八百津町出身

2001年 長女を出産 血管腫・リンパ管腫と診断を受ける

硬化療法・摘出手術を何度も行うがすぐに再発

2004年 混合型血管奇形と診断される

2007年 混合型血管奇形の難病指定を求める会発足、事務局長就任

現在、保育士の仕事と育児、難病指定を求める活動に励んでいる

ひとこと「多くの患者さんと力を合わせて国に難病指定を求める働きかけを行っています。先生方のお力添えをいただき、この疾患を多くの医師の皆さんにも知っていただけたら心強いです」

混合型血管奇形の難病指定を求める会

<http://www.kongougata.com/>

個人ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/sakuranbo4918/>